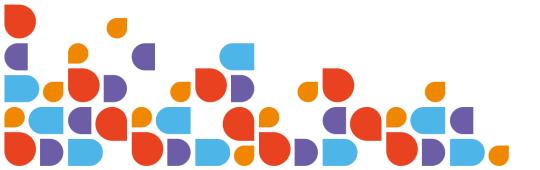


2024年2月期(2023年度)第2四半期決算補足資料

イノベーションとコミュニケーションで 社会の豊かさを支える

株式会社ベルシステム24ホールディングス 2023年10月11日



証券コード:6183

2024年2月期 (2023年度) 第2四半期 決算サマリー



- 売上収益は767億円で、前年同期比△2.1%の減少
- 営業利益は65億円で前年同期比△20.2%の減少、四半期利益は45億円で 前年同期比△13.9%の減少

	売上収益	767 億円	前年度比	△ 2.1 %
連結業績	営業利益	65 億円	前年度比	△ 20.2 %
	親会社の所有者に 帰属する四半期利益	45 億円	前年度比	△ 13.9 %

2024年2月期 (2023年度) 第2四半期 決算概要



売上収益

基礎業務は703.2億円と、前年同期比+51.3億円の増加となるも、コロナ等国策関連業務は60.1億円と前年同期の126.2億円から△66.1億円の減少

営業利益

基礎業務の増収効果はあるものの、高収益のコロナ等国策関連業務の減少の影響が大きく、65.3億円と前年同期比 △16.5億円の減少

四半期利益

持分法による投資損益の増加等はあるものの、営業利益減少の影響により、45.0億円と前年同期比△7.3億円の減少

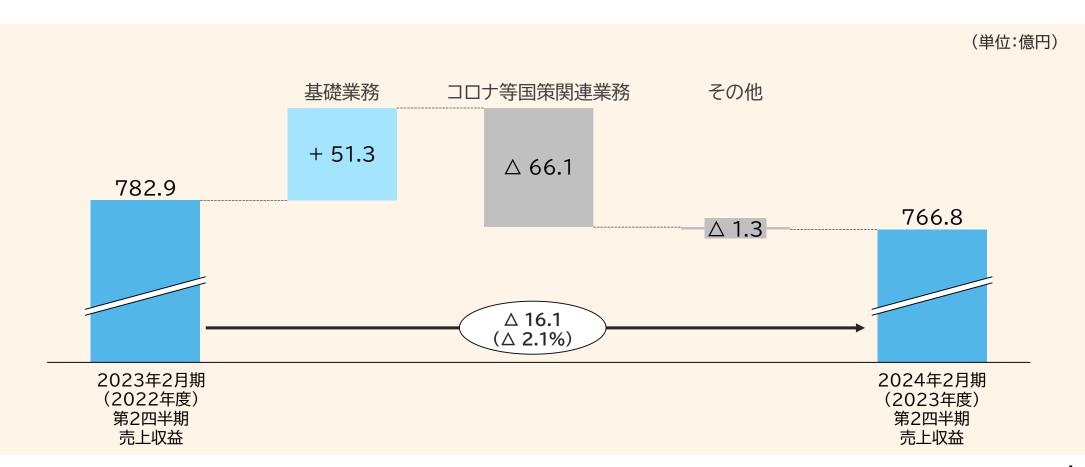
(単位:億円)

		2023年2月期 (2022年度) 第2四半期	2024年2月期 (2023年度) 第2四半期	前年同期比增減額	前年同期比增減率	連結業績予想 (計画)	進捗率
壳	上収益	782.9	766.8	△16.1	△2.1%	1,570.0	48.8%
	内、基礎業務	651.9	703.2	+51.3	+7.9%	1,451.0	48.5%
	内、コロナ等国策関連業務	126.2	60.1	△66.1	△52.4%	110.0	54.7%
	内、その他	4.8	3.5	△1.3	△27.1%	9.0	38.6%
営	業利益	81.8	65.3	△16.5	△20.2%	138.0	47.3%
	営業利益率	10.5%	8.5%			8.8%	
親	会社の所有者に帰属する四半期利益	52.3	45.0	△7.3	△13.9%	88.0	51.1%

2024年2月期 (2023年度) 第2四半期 売上収益の増減分析



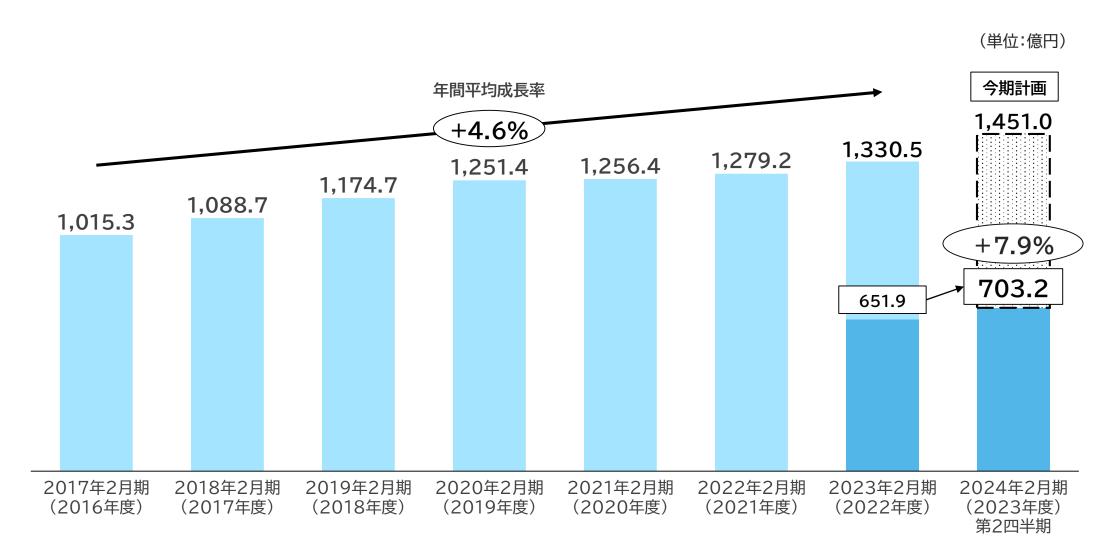
- 売上収益は766.8億円で、前年同期の782.9億円から△16.1億円(△2.1%)の減少
- 基礎業務は、新規・既存業務が拡大する中、ベトナム子会社の売上収益も加わり、前年同期比+51.3億円 (+7.9%)の着実な増加
- □ コロナ等国策関連業務は、ワクチン関連業務の減少が大きく、前年同期比△66.1億円(△52.4%)の減少



2024年2月期 (2023年度) 第2四半期 基礎業務の売上収益推移



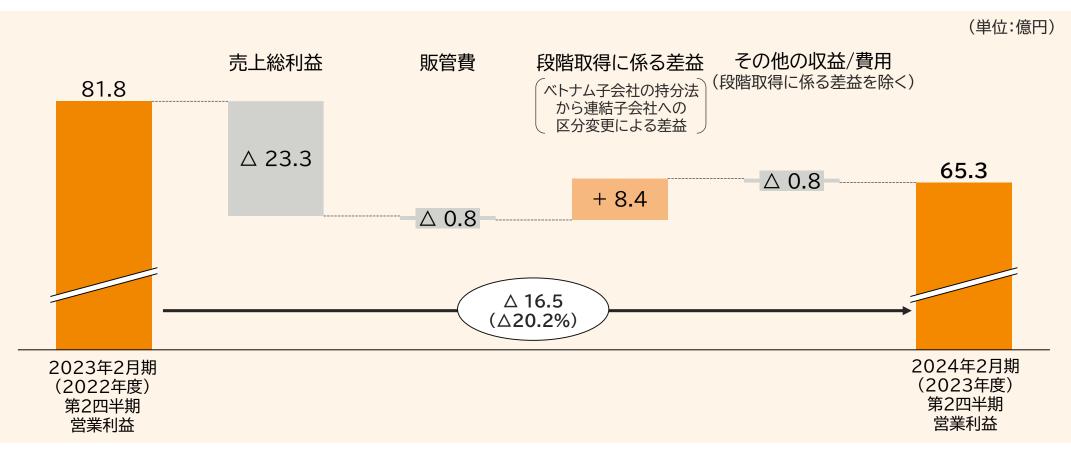
- 当第2四半期の売上収益(基礎業務)は703.2億円、前年同期の651.9億円に比べ+7.9%の増加
- 基礎業務の過去の年間平均成長率は+4.6%、今年度はコロナ収束による企業の事業活動が正常化に 向かう中でアウトソーシング需要が高まり、当第2四半期では過去の成長率を上回るペースで着実に増加



2024年2月期 (2023年度) 第2四半期 営業利益の増減分析



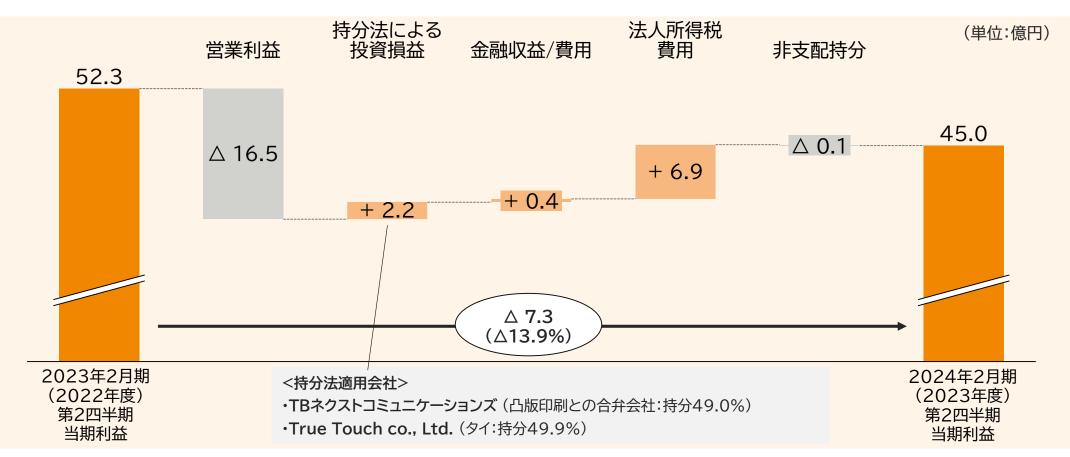
- | 営業利益は65.3億円で、前年同期比△16.5億円(△20.2%)の減少
- 売上総利益は、基礎業務の増収効果はあったものの、高収益のコロナ等国策関連業務が大きく減少、 人件費、家賃・光熱費等のコスト上昇もあり前年同期比△23.3億円の減少
- 販管費は、新会計システムの導入・運用費用等の増加により、前年同期比△0.8億円の減益要因



2024年2月期 (2023年度) 第2四半期 当期利益の増減分析



- 当期利益は45.0億円で、前年同期比△7.3億円(△13.9%)の減少
- 一 持分法による投資損益は、前年同期の▲1.4億円から0.7億円と+2.2億円の増加
 - ※ 持分法適用対象会社は、TBネクストコミュニケーションズ、及びタイのTrue Touch社
 - ※ ベトナム子会社(BELLSYSTEM24 VIETNAM Inc.)は、2023年4月以降、持分法から連結子会社へ区分を変更



2024年2月期 (2023年度) 第2四半期 連結財政状態計算書



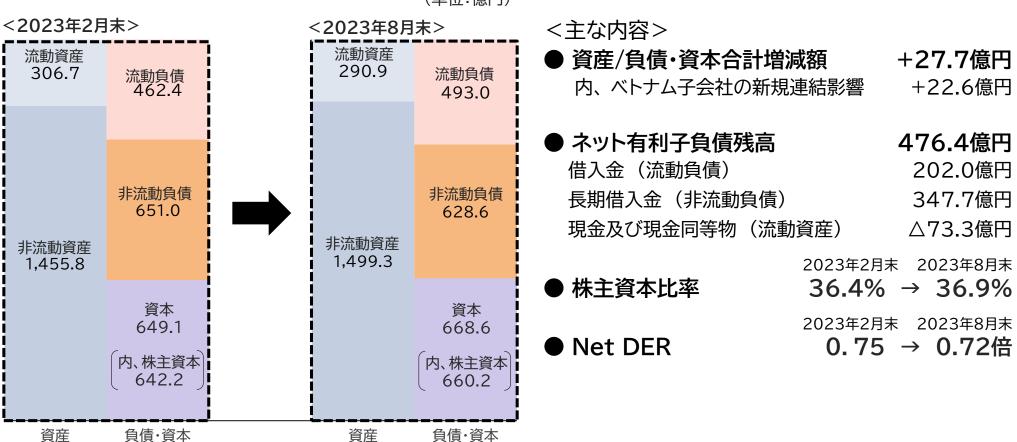
- 2023年8月末の株主資本は660.2億円と、前年度末642.2億円から+18.0億円の増加
- ー ネット有利子負債残高は476.4億円と、前年度末478.2億円から△1.8億円の減少

1.790.2 (+27.7)

連結財政状態計算書の概要

資産/負債·資本合計 1.762.5

(単位:億円)



2024年2月期 (2023年度) 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

▲5.5億円

▲2.1億円

▲22.1億円

▲35.2億円



(単位:億円)

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資、事業投資により▲21.1億円に拡大

営業活動によるキャッシュ・フロー	+84.0億円
古未泊勤によるイドグノユ・ノロー	⊤04.∪限门

● 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲21.1億円
<主な内容>	

設備投資

・有形・無形資産の取得による支出	▲14.0億円
事業投資	

- ・有価証券の取得による支出
- ・連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入/支出
- 財務活動によるキャッシュ・フロー ▲59.7億円

<主な内容>

· 矢	豆期/長期借入金の増減額	+1.0億円
-----	--------------	--------

- ・配当金の支払額
- ・リース負債の返済による支出 (使用権資産に係る支出額)

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

た心 バノノエ ノロ 可弁目の	(十四・周二)	
	2023年2月期 (2022年度) 第2四半期	2024年2月期 (2023年度) 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	96.8	84.0
投資活動によるキャッシュ・フロー	5.2	▲ 21.1
内、有形・無形資産の取得による支出	▲ 9.3	1 4.0
内、有価証券の取得による支出	▲ 0.5	▲ 5.5
内、有価証券の売却による収入	14.4	_
内、連結範囲の変更を伴う子会社株式 の取得による収入/支出	_	▲ 2.1
フリーキャッシュ・フロー	102.1	62.9
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 84.6	▲ 59.7
内、短期借入金の増減(△は減少)	▲ 15.0	16.0
内、長期借入れによる収入	_	40.0
内、長期借入金の返済による支出	▲ 14.7	▲ 55.0
内、配当金の支払額	▲ 22.1	▲ 22.1
内、リース負債の返済による支出	▲ 32.2	▲ 35.2

[※] フリーキャッシュ・フロー=営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動による キャッシュ・フロー

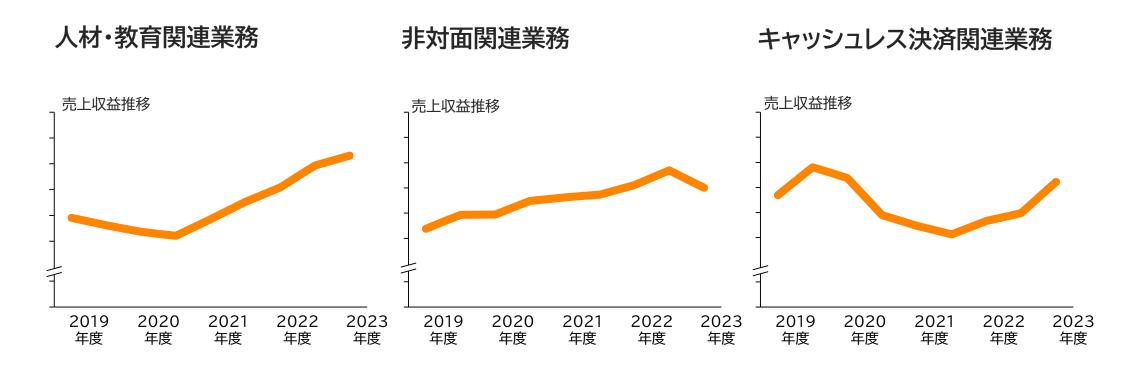


APPENDIX

2024年2月期 (2023年度) 第2四半期 基礎業務の注目分野

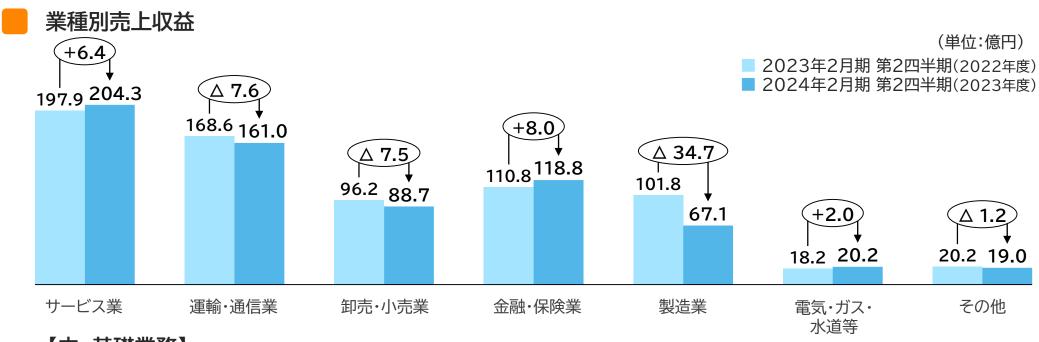


- ─ 人材・教育関連業務では、雇用の流動化が続く中で転職者数が増加し、中途斡旋関連の業務が堅調に推移
- 非対面関連業務では、保険関連業務は安定的に推移しているものの、行動制限が緩和された影響により Eコマース関連業務、デリバリー関連業務は減少
- キャッシュレス決済関連業務では、クレジットカード関連業務の増加に加え、電子マネー・QRコード決済関連業務も堅調な推移

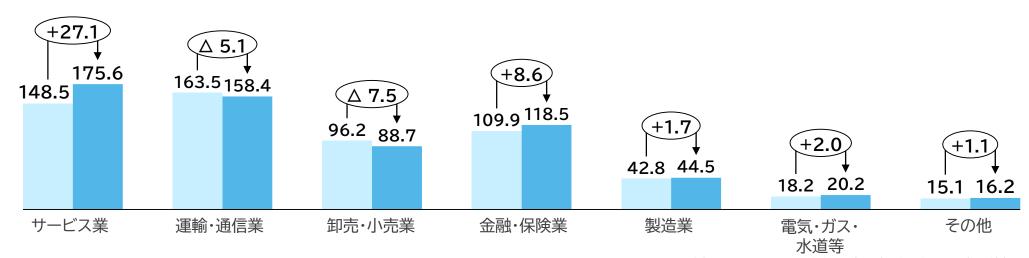


2024年2月期 (2023年度) 第2四半期 業種別売上収益





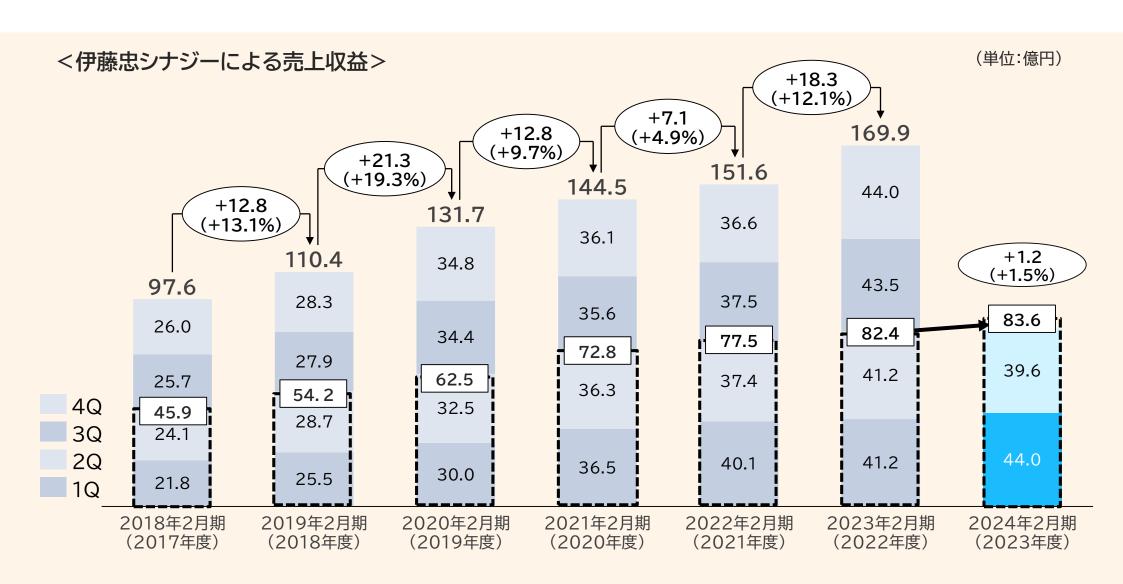
【内、基礎業務】



2024年2月期 (2023年度) 第2四半期 伊藤忠シナジー



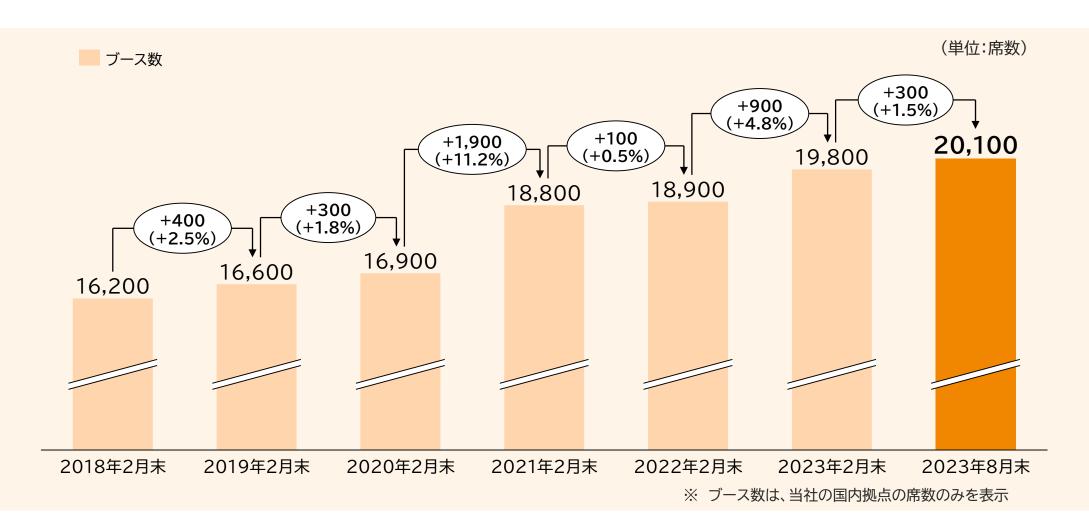
─ 伊藤忠シナジーの売上収益は、83.6億円、前年同期比+1.2億円(+1.5%)と前年同期並み



拠点ブース数の状況



2023年8月末の国内拠点は38拠点、首都圏から地方へのシフトを進める中で地方拠点の増床を先行させ、 ブース数は約20,100席に微増





ご注意

本説明および参考資料の内容には、将来の当社業績に関する見通しが含まれていますが、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断にもとづくものであり、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これら業績に関する見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

Bell System24